

令和 8 年 7 月 29 日

水管理・国土保全局河川環境課

大臣官房参事官（イノベーション）グループ施工企画室

「重要河川施設の機能喪失回避のための施設マネジメント検討会 報告書」の公表 ～ 老朽化施設の延命化から計画的更新へのパラダイムシフト ～

老朽化や施設管理の担い手不足などの課題が進展する中で、堰・水門・排水機場等の重要な河川施設について、埼玉県八潮市の道路陥没事故の教訓等を踏まえたマネジメント体制を構築するため設置した、「重要河川施設の機能喪失回避のための施設マネジメント検討会」において、報告書が取りまとめられましたので公表します。

報告書では、延命化（長寿命化）を前提とした維持管理の取組だけでなく、施設の機能喪失リスクに着目した河川施設マネジメントへ転換するため、今後の河川施設のマネジメントの方向性および河川施設の機能喪失リスクを低減するための対応方策が示されました。

本報告書を踏まえ、具体的な施策を速やかに検討し、重要河川施設の機能喪失リスクの低下対策を進めてまいります。

<報告書のポイント>

■今後の河川施設のマネジメントの方向性

- 機能喪失時の影響が大きく、代替性や復旧困難性の観点から重点的な対応を要する施設を「急所施設」として抽出・選定し、重点的な状態把握・管理
- 急所施設について、総合診断を行い、更新・改築・増強、重点監視等の対応を適切に選択
- 担い手不足を踏まえ、維持管理・施設操作の省人化、高度化を進めるとともに、それを支えるデータ基盤や産業基盤のあり方についても検討

■河川施設の機能喪失リスクを低減するための対応方策

- 対応方策① 急所施設の抽出・選定
- 対応方策② 総合診断に基づく対応選択と計画的更新
- 対応方策③ 維持管理・施設操作の省人化・高度化
- 対応方策④ 施設マネジメント上の観点と実施基盤

<添付資料>

- ・重要河川施設の機能喪失回避のための施設マネジメント検討会 報告書（概要）
- ・重要河川施設の機能喪失回避のための施設マネジメント検討会 報告書（本文）

※「重要河川施設の機能喪失回避のための施設マネジメント検討会」の開催状況、資料等につきましては、以下の国土交通省ウェブサイトをご参照ください。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/river/mizukokudo04_mn_000015.html

<問合せ先>

水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 酒匂（さこう）、龍野（りょうの）

代表：03-5253-8111（内線 35-464、35-473）、直通：03-5253-8448

大事官房 参事官（イノベーション）グループ 施工企画室 塩入（しおいり）、門井（かどい）

代表：03-5253-8111（内線 22-422、22-423）、直通：03-5253-8285